

日本学術会議の活動状況等に関する年次報告 (令和2年10月～令和3年9月) 作成の方針について (案)

1. 目的

社会に対して広く1年間の日本学術会議の活動について明らかにするとともに、外部評価有識者による外部評価の基礎資料とするため、令和2年10月から令和3年9月までの日本学術会議の活動状況を報告する冊子を作成する。

2. 構成

- 構成については例年通り、「第1編 総論」と「第2編 活動報告」に分冊する。
- 「第1編 総論」のみを製本し、10月総会において配布する。(第1編、第2編とも学術会議HPには掲載)
- 今期最初の年次報告となることから、日本学術会議の活動に関する記述においては、「今期開始に際しての所感」または「3年間の活動方針」などを記載することとしてはどうか。

	頁数の目安
第1編 総論	38頁
1. 表紙	1頁
2. 日本学術会議憲章	1頁
3. 目次	1頁
4. 冒頭挨拶【執筆担当：梶田会長】 …第25期開始に際しての所感、1年目に特に取り組んだ事項など	2頁
5. 日本学術会議の活動 …第25期最初の年次報告となるため、各原稿において、「今期開始に際しての所感」または「3年間の活動方針」などを記載する。	16頁
(1) 政府及び社会に対する提言等【執筆担当：菱田副会長】 …主に科学と社会委員会、幹事会附置委員会、課題別委員会の活動について記載。 部・分野別委員会は特に記載すべき事由がある場合のみ記載。	(2頁)
(2) 国際的活動【執筆担当：高村副会長】 …主に国際委員会の活動について記載。	(2頁)
(3) 科学者ネットワークの構築【執筆担当：望月副会長】 …主に科学者委員会の活動について記載。	(2頁)
(4) 市民との対話【執筆担当：菱田副会長】 …サイエンスカフェ、メディアとの懇談、地区会議・地方学術会議、その他。	(1頁)

(5) 日本学術会議を支える3つの科学部門【執筆担当：各部長】 …各部の活動方針、1年目の活動(各部・分野別委員会からの提言・報告の内容、 注目を集めたシンポジウムなど)を記載。	(6頁) ※各部2頁
(6) 若手アカデミー【執筆担当：若手アカデミー代表】	(1頁)
(7) 日本学術会議会員等の選考について(第25期会員の任命についても含む)【執筆担当：梶田会長】	(2頁)
【特集】	11頁
(1) 日本学術会議のより良い役割発揮に向けて	
① 総論(作成までの経緯)【執筆担当：梶田会長】	(2頁)
② 国際活動の強化(取組状況)【執筆担当：高村副会長】	(2頁)
③ 意思の表出と科学的助言機能強化(取組状況)(提言の在り方、中 長期的課題への取組など)【執筆担当：菱田副会長】	(2頁)
④ 対話を通じた情報発信力の強化(取組状況)【執筆担当：菱田 副会長】	(2頁)
⑤ 会員選考プロセスの透明性の向上、事務局機能の強化(取組状 況)【執筆担当：事務局】	(1頁)
(2) 新型コロナウイルス感染症に関する取組【執筆担当：望月副会長】	(2頁)
6. 1年の活動記録(カレンダー等)	1頁
7. 学術会議の運営状況等(規則改定など)	2頁
8. (参考) 声明「科学者の行動規範一改訂版」	2頁
9. 裏表紙	1頁

	頁数の目安
第2編 活動報告	150 頁
1. 表紙	1 頁
2. 目次	1 頁
3. 日本学術会議の概要（組織の概要）	1 頁
4. 組織ごとの活動報告 …第25期最初の年次報告となるため、各原稿において、「今期開始に際しての所感」または「3年間の活動方針」などを記載する。	147 頁
(1) 総会	(1 頁)
(2) 幹事会及び附置委員会（委員会：各 1/2 頁、分科会：各 1/3 頁）	(6 頁)
(3) 部（各 1 頁）	(3 頁)
(4) 機能別委員会（委員会：各 1/2 頁、分科会：各 1/3 頁）	(11 頁)
(5) 課題別委員会（II）	(7 頁)
(6) 分野別委員会（II）	(11 頁)
(7) 地区会議（各 1/2 頁）	(4 頁)
(8) 若手アカデミー（若手アカデミー会議：各 1/2 頁、分科会：各 1/3 頁）	(4 頁)
5. インパクトレポート	- 頁

3. 今後のスケジュール案

7月中	年次報告書の執筆依頼
8月20日	執筆原稿の〆切
8月26日	年次報告書案について年次報告検討分科会で審議【分科会開催】
8月下旬 ～9月上旬	分科会での指摘に基づき、年次報告書案の修正 ※9月15日原稿確定、製本発注
10月5日	総会で年次報告書を報告（分科会委員長から報告）
11月以降	外部評価有識者に外部評価を依頼